

# 平成17年3月期 中間決算説明会資料

～ 製造業の信頼をガードする岡谷電機産業 ～

2004年12月1日(水)

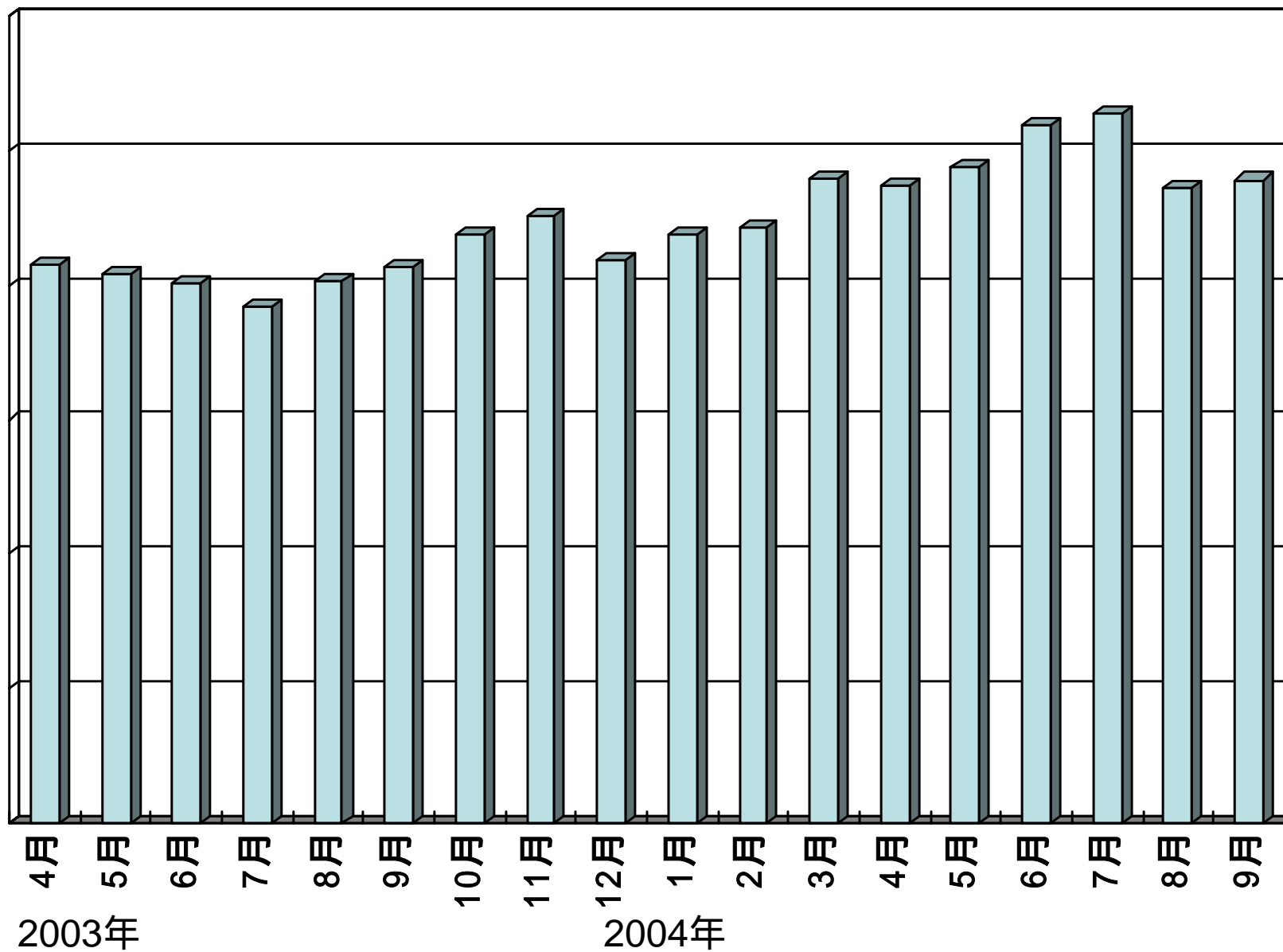
**岡谷電機産業株式会社**

<http://www.okayaelec.co.jp/>

## ～ 本日の説明内容 ～

- ・ 決算の総括
- ・ 今期業績見通し
- ・ 事業戦略
- ・ 株主還元策

# 決算の総括



(単位:百万円、%)

	03/9期	構成比	04/9期	構成比	増減	前期比
売上高	5,469	100.0	6,455	100.0	+986	+18.0
ノイズ	2,899	53.0	3,615	56.0	+716	+24.7
表示	1,734	31.7	1,823	28.2	+89	+5.1
サージ	835	15.3	1,016	15.8	+181	+21.7
売上総利益	1,403	25.6	1,745	27.0	+342	+24.4
営業利益	410	7.5	752	11.6	+342	+83.4
経常利益	378	6.9	757	11.7	+379	+100.2
中間純利益	204	3.7	447	6.9	+243	+119.1
減価償却費	295		265		30	10.2

\* 減価償却費はキャッシュフローから算出

前期からの比較(03/9期 04/9期)

(単位:百万円)

	03/9期	04/9期	増加率 (%)
売上高	5,469	6,455	+18.0
営業利益	410	752	+83.4
経常利益	378	757	+100.2
中間純利益	204	447	+119.1

# 売上高

- デジタル家電市場の活況を中心とした旺盛な設備投資需要による増加
- 猛暑によるエアコン市場の活況による増加
- 設備投資意欲の増大

事業環境の好転と収益構造改革の  
効果で経常利益が倍増！

- 構造改革の効果
- 分社化による生産の集約化
- 生産マップの見直し

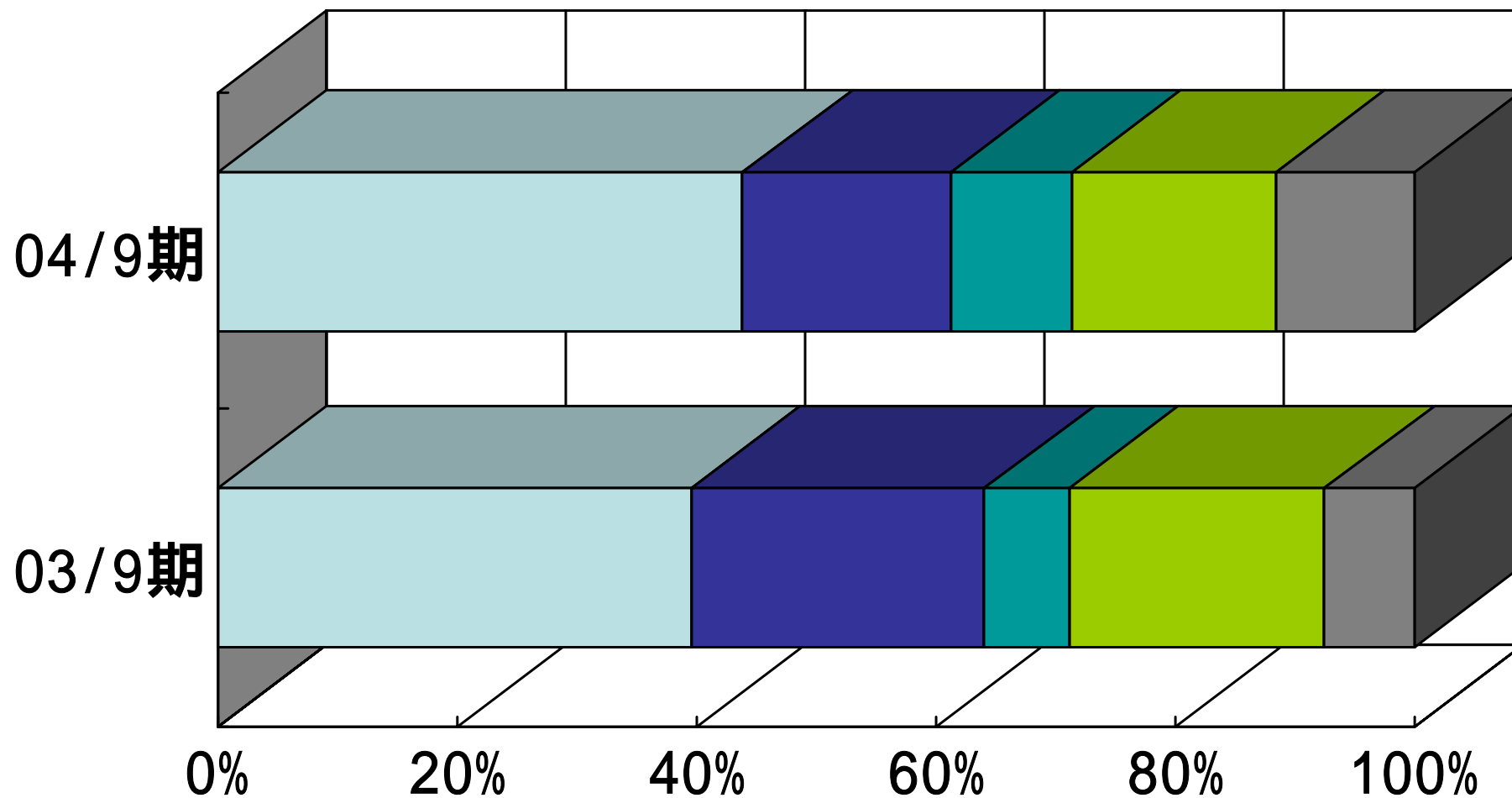
# 経常利益

## 構造改革とは・・・

- 効率化を求めた生産拠点・人員の配置の見直し  
(生産部門を完全子会社化、海外へ移転)
- 生産マップの最適化
- 材料のアジア調達の推進
- 技術センター設立

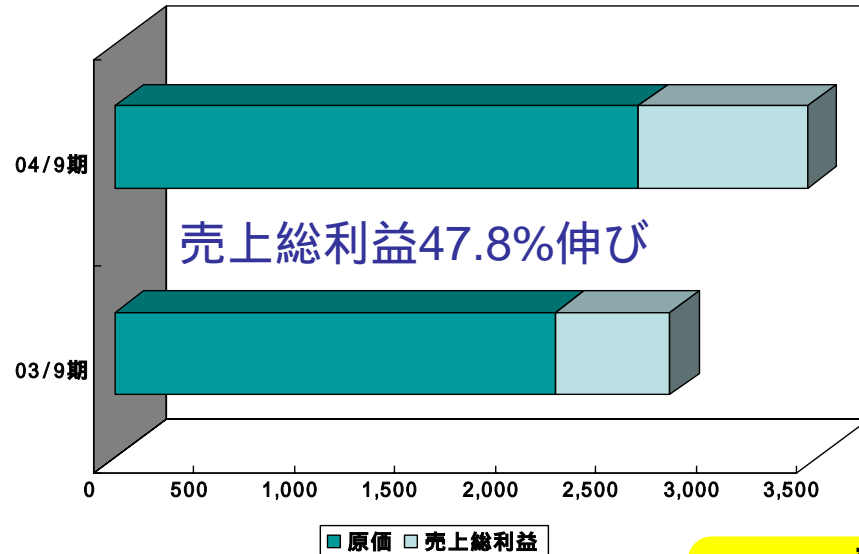
ITバブル崩壊後、ステイクホルダーのため、  
製造業の強さを維持するため、  
痛みを伴いながらも聖域なき改革に着手





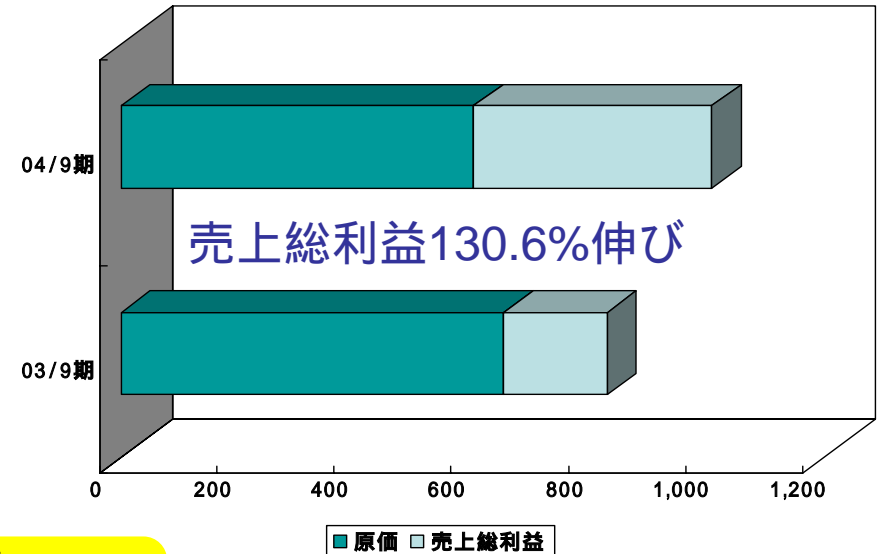
### ～ノイズ事業～

(単位:百万円)



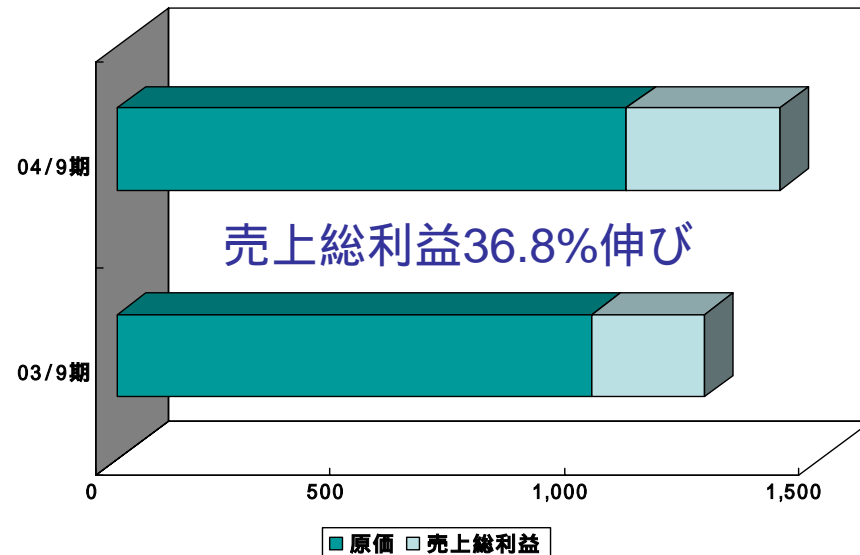
### ～サージ事業～

(単位:百万円)



### ～表示事業～

(単位:百万円)



(単位:百万円)	03/9期		04/3期		04/9期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
現金および預金	435	3.7%	464	4.0%	568	4.8%	133	利益増、南多摩売却による増加
売上債権	3,281	28.2%	3,547	30.4%	3,955	33.3%	674	売上増に伴う増加
棚卸資産	1,631	14.0%	1,478	12.6%	1,613	13.6%	18	構造改革効果
その他流動資産	443	3.8%	102	-0.9%	398	3.3%	45	
<b>流動資産計</b>	<b>5,792</b>	<b>49.8%</b>	<b>5,297</b>	<b>45.3%</b>	<b>6,535</b>	<b>55.0%</b>	<b>743</b>	
有形固定資産	4,221	36.3%	3,914	33.5%	3,757	31.6%	464	南多摩売却に伴う資産減 2億円
無形固定資産	27	0.2%	30	0.3%	26	0.2%	1	
投資その他資産	1,601	13.8%	1,712	14.7%	1,567	13.2%	34	
<b>固定資産計</b>	<b>5,850</b>	<b>50.2%</b>	<b>5,657</b>	<b>48.4%</b>	<b>5,351</b>	<b>45.0%</b>	<b>499</b>	事業提携に伴う持合等 投資有価証券の取得 1億円 繰延税金資産の減少 2億円
<b>資産合計</b>	<b>11,642</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,686</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,887</b>	<b>100.0%</b>	<b>245</b>	
買入債務	1,076	15.7%	1,129	17.6%	1,414	21.8%	338	中国現地調達に伴う現金払いの増加
短期借入金	2,912	42.5%	2,678	41.8%	2,786	42.9%	126	FCFの増加に伴う借入返済
その他流動負債	557	8.1%	715	11.1%	731	11.2%	174	長期短期合わせて約3億円の 借入金を返済
<b>流動負債計</b>	<b>4,547</b>	<b>66.4%</b>	<b>4,522</b>	<b>70.5%</b>	<b>4,931</b>	<b>75.9%</b>	<b>384</b>	
長期借入金	1,129	16.5%	770	12.0%	359	5.5%	770	FCFの増加に伴う借入返済
その他固定負債	1,170	17.1%	1,122	17.5%	1,209	18.6%	39	南多摩売却に伴う 繰延税金負債の減少
<b>固定負債計</b>	<b>2,299</b>	<b>33.6%</b>	<b>1,892</b>	<b>29.5%</b>	<b>1,568</b>	<b>24.1%</b>	<b>731</b>	
<b>負債合計</b>	<b>6,846</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,414</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,500</b>	<b>100.0%</b>	<b>346</b>	
利益剰余金	289	6.0%	492	9.5%	607	11.3%	318	
<b>資本合計</b>	<b>4,795</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,170</b>	<b>100.0%</b>	<b>5,387</b>	<b>100.0%</b>	<b>592</b>	

注:増減項目は、03/9期と04/9期を比較した数値

(単位:百万円)

	03/9期	04/3期	04/9期	増減	備考
営業CF	385	1,276	527	+142	事業環境の好転に伴う利益増で運転資金需要を吸収 増益388百万円 売上債権の増加 177百万円
投資CF	187	523	56	+243	南多摩売却代金の計上 232百万円
財務CF	220	735	494	274	FCFの増加に伴い、財務体質強化に向けた有利子負債の返済 380百万円
フリーキャッシュフロー	197	752	583	+385	
有利子負債増減	94	511	380	286	
売上債権回転期間	108.0日	110.4日	106.1日	1.9日	
棚卸資産回転期間	54.5日	51.0日	43.7日	10.8日	生産マップの見直しと、棚卸資産管理の強化による効率化
買入債務回転期間	37.0日	37.2日	36.0日	1.0日	

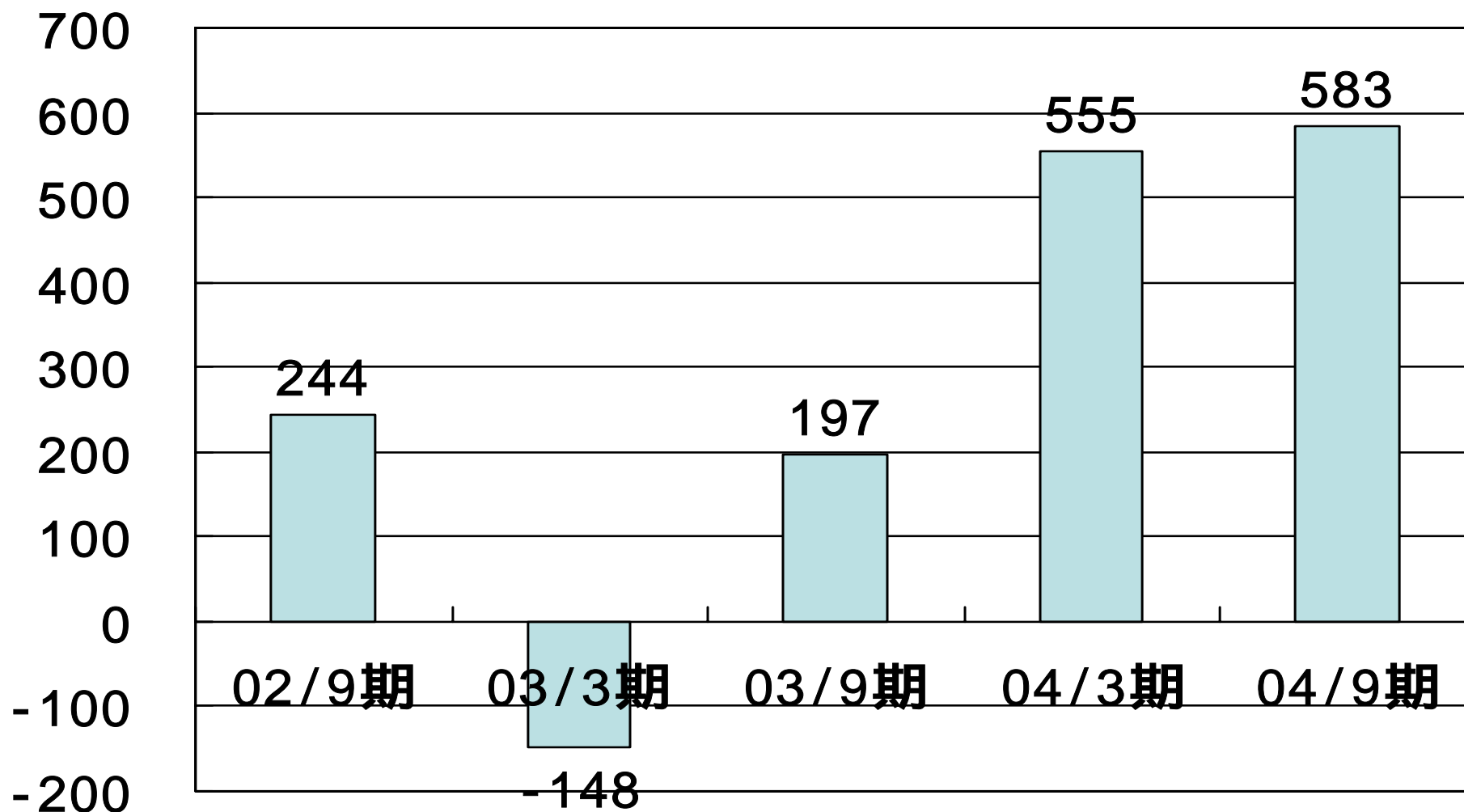
\* 増減、備考欄は03/9期と04/9期を比較

\* FCF = 営業活動CF + 投資活動CF

### ～FCFの推移～

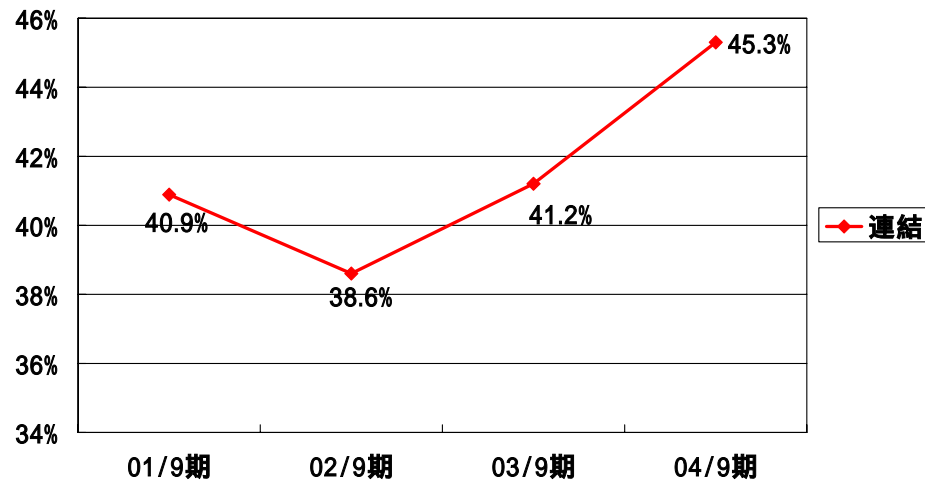
注：半期毎の数値

(単位：百万円)



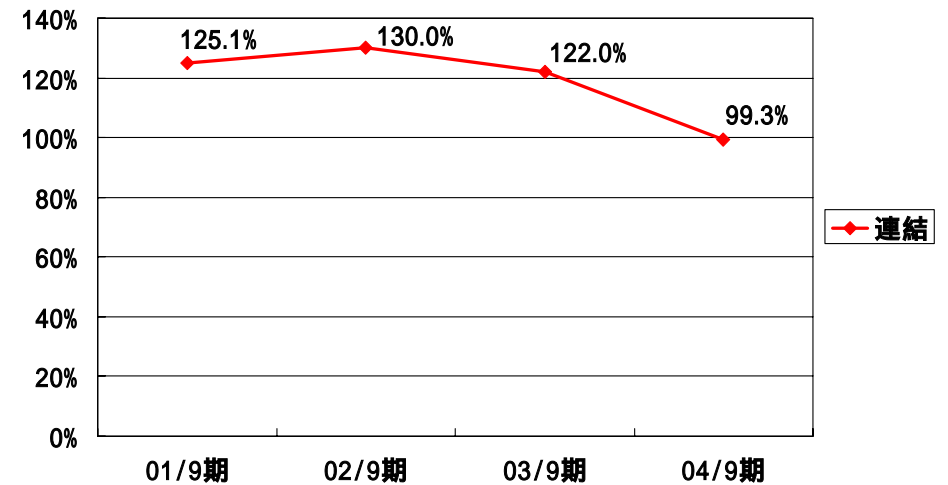
\* FCF = 営業活動CF + 投資活動CF

### 自己資本比率の推移



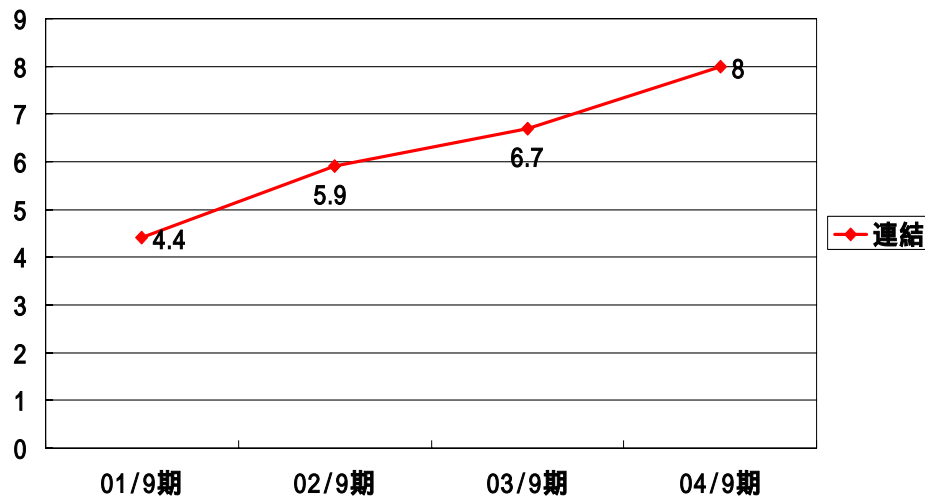
\* 資本合計(B/S) ÷ 資産合計 (B/S)

### 固定比率の推移



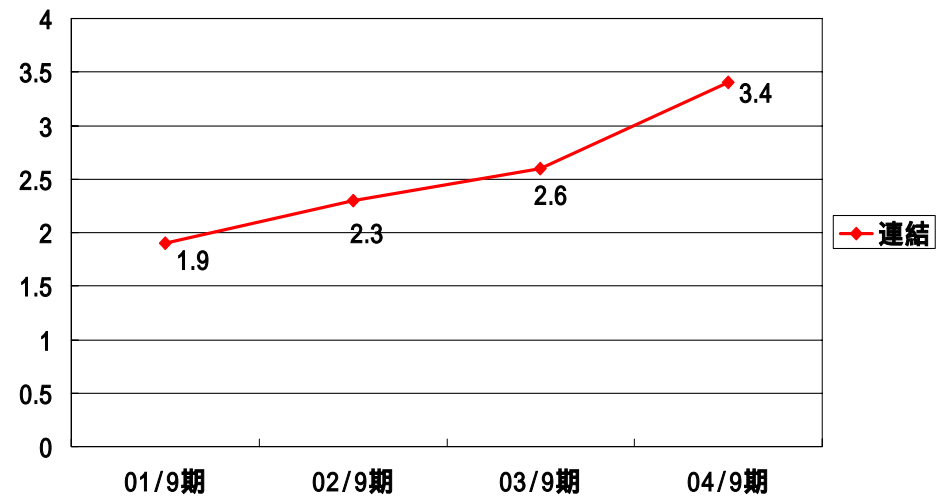
\* 固定資産(B/S) ÷ 資本合計 (B/S)

### 棚卸資産回転率の推移



\* 売上高(P/L) × 2 ÷ たな卸資産(B/S)

### 有形固定資産回転率の推移



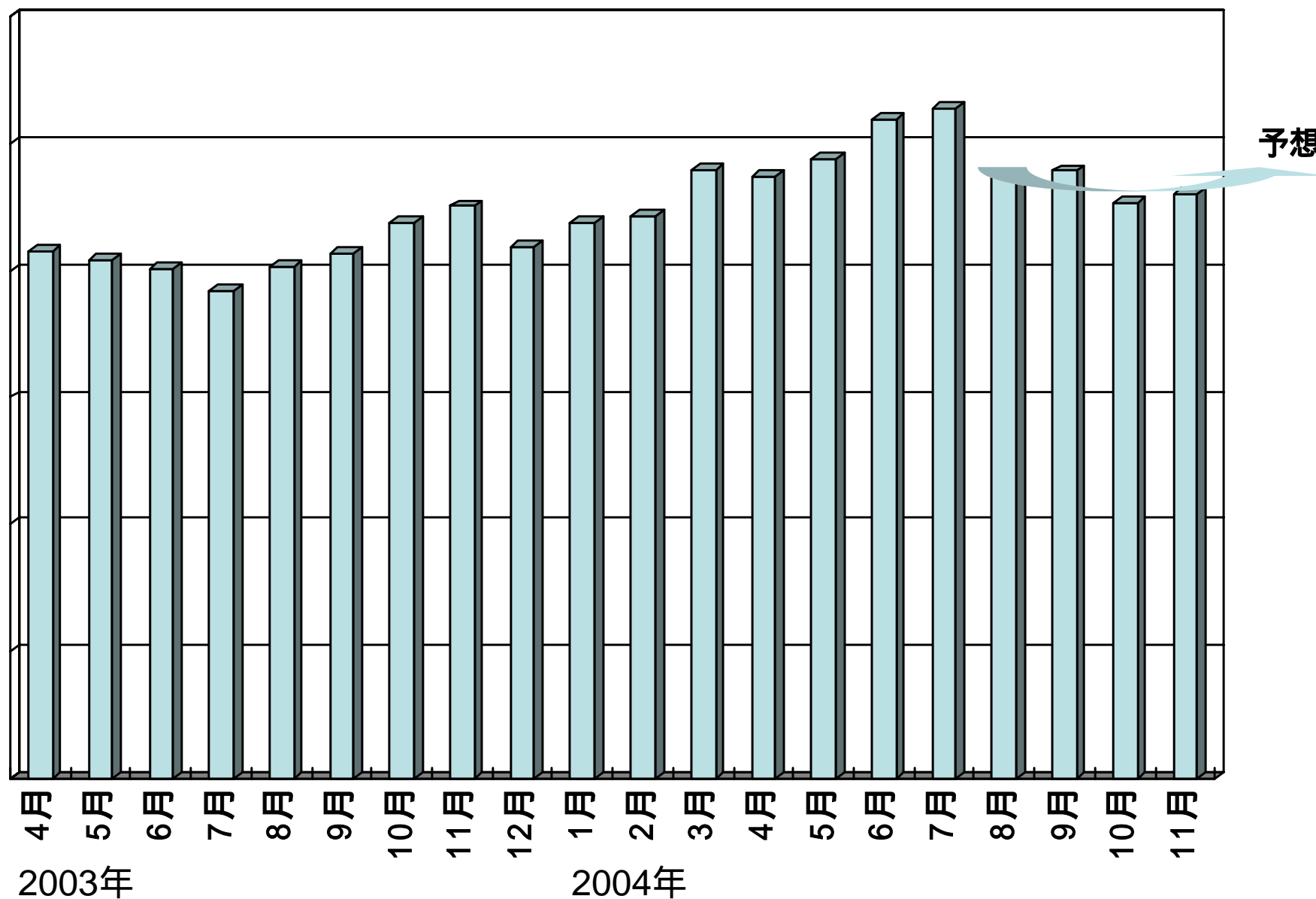
\* 売上高(P/L) × 2 ÷ 有形固定資産(B/S)

# 今期業績見通し

(単位:百万円、%)

	04/3期	構成比	05/3期	構成比	前期比	当初計画
売上高	11,170	100.0	12,000	100.0	+7.4	12,000
ノイズ	6,088	54.5	6,600	55.0	+8.4	6,600
表示	3,373	30.2	3,430	28.6	+1.7	3,430
サージ	1,708	15.3	1,970	16.4	+15.3	1,970
営業利益	918	8.2	1,300	10.8	+41.6	1,300
経常利益	849	7.6	1,200	10.0	+41.3	1,200
当期純利益	408	3.7	650	5.4	+59.3	600
設備投資	526		600		+14.1	620
減価償却	611		540		11.6	550





~ 今後の事業環境の想定 ~

## プラス要因

- 工作機器は好調継続
- エアコン需要の立ち上がり
- 電気製品のモデルチェンジ(新型スタート)
- パソコンとリアプロ関係は好予感
- ダイレクトプリンタ(ピクトブリッジ等)の売上げが好調 等

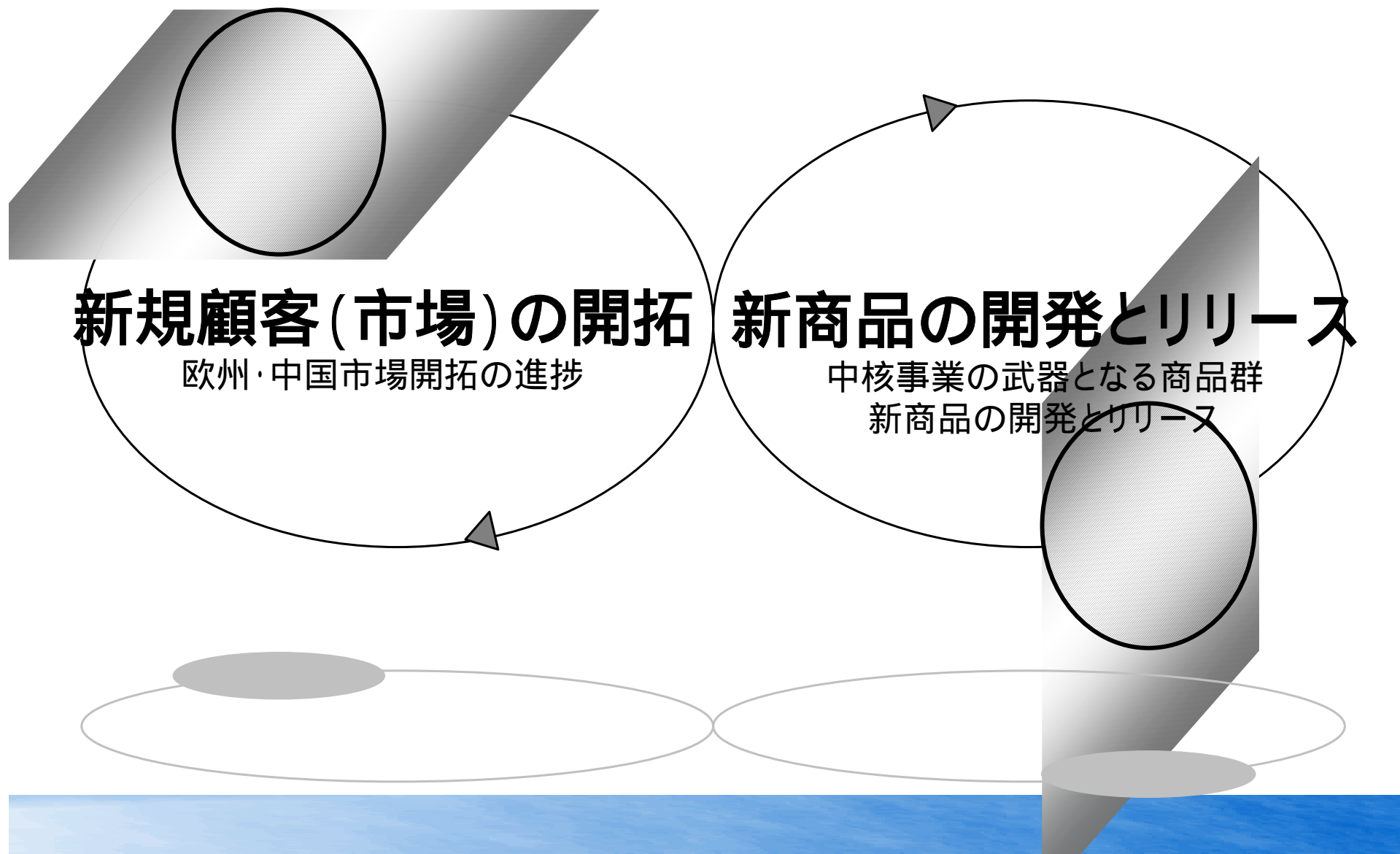
## 懸念事項

- 原油市況上昇による材料コスト上昇
- 半導体の設備投資に対する不透明感の台頭
- デジタル家電の成熟期への移行
- 中国市場を中心とした価格競争のヒートアップ
- 円高による輸出への悪影響 等

決して楽観できる環境ではない

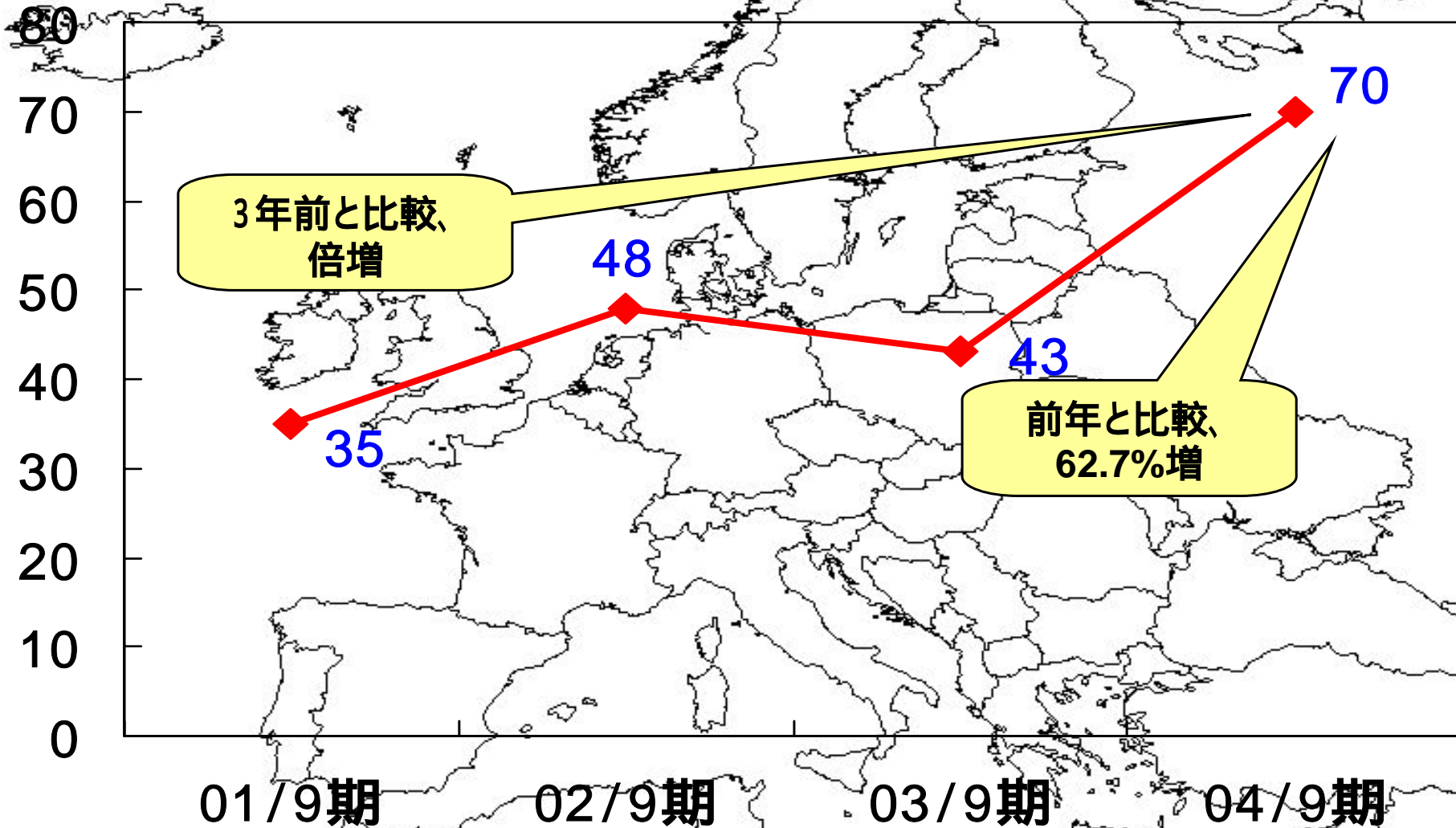
不透明

# 事業戦略



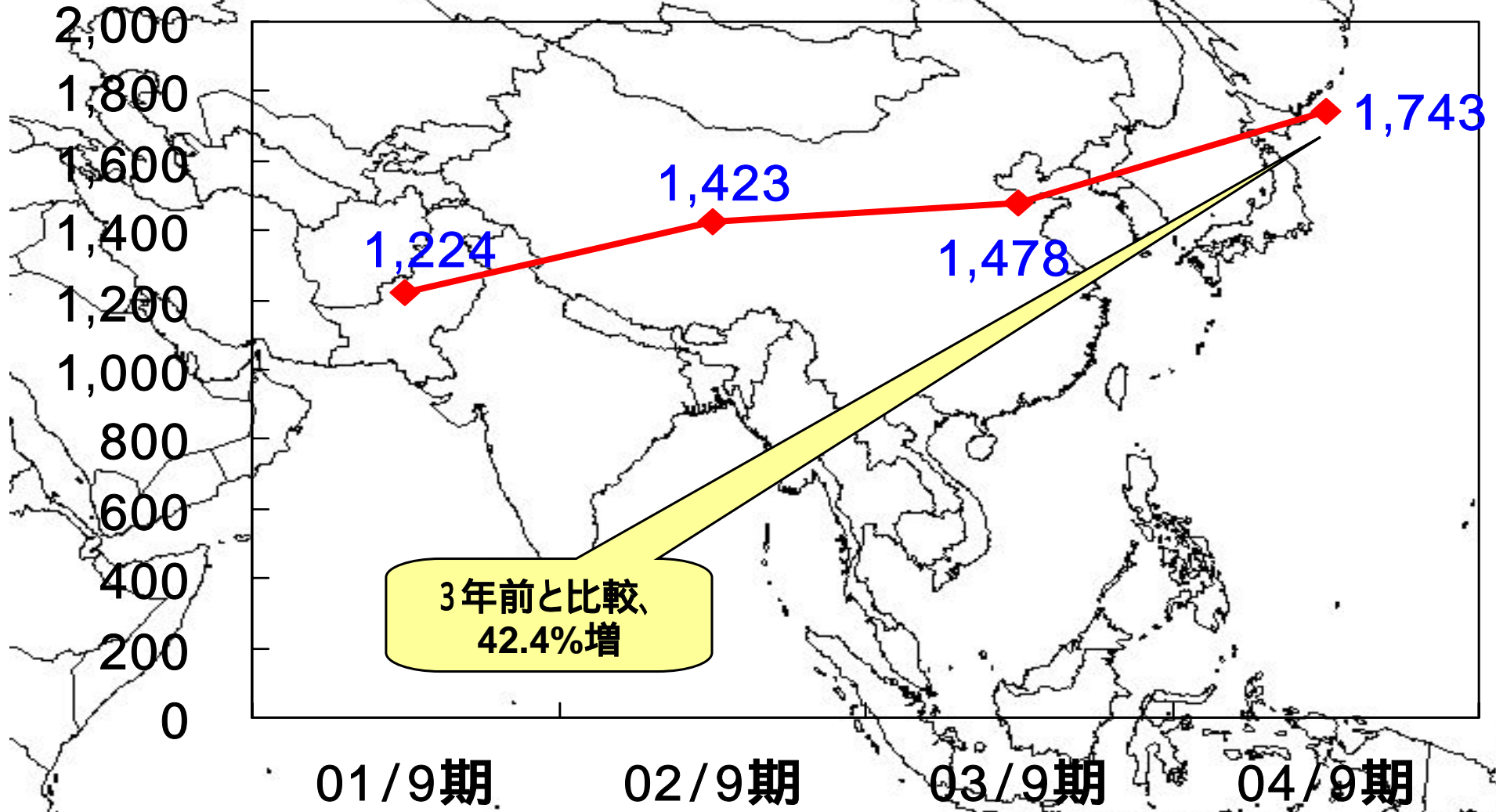
～近年、力を入れ始めた欧州市場。これから～

(単位:百万円)



～アジア地区での価格競争激化、その中で健闘～

(単位:百万円)



## ノイズ事業における武器となる商品

# 世界最小アクロスコンデンサ(LE-Mシリーズ)

◇大手競合他社製品との体積比は80%

◇安全である。

業界で一番厳しいキャノンの規格認定を取得しているのは当社だけ

◇アクロスコンデンサに特化しており、製品の品揃えの豊富さと、顧客ニーズに応じたカスタマイズ能力は業界随一

## サージ事業における武器となる商品

# HIDランプ<sup>0</sup>用スイッチング素子

- ◇ プロジェクター市場
- ◇ リアプロジェクションTV市場
- ◇ 車載電装市場



## 表示事業における武器となる商品

# ハイパワーLED

### 超高輝度LED

フィラメント電球の代替

省エネ、安全、デザインの自由性

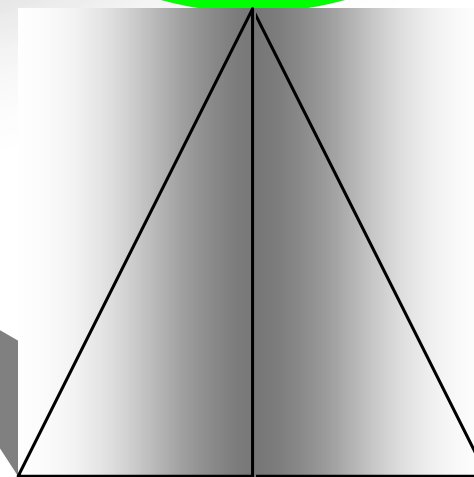
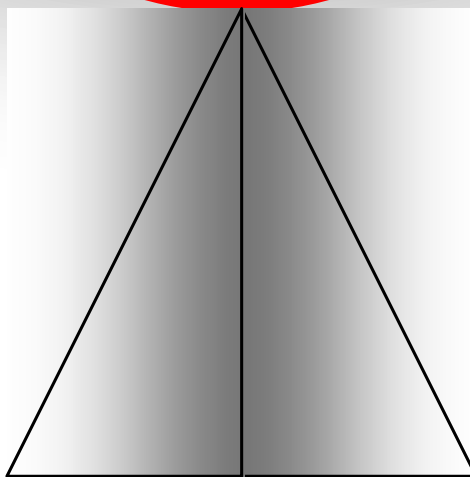
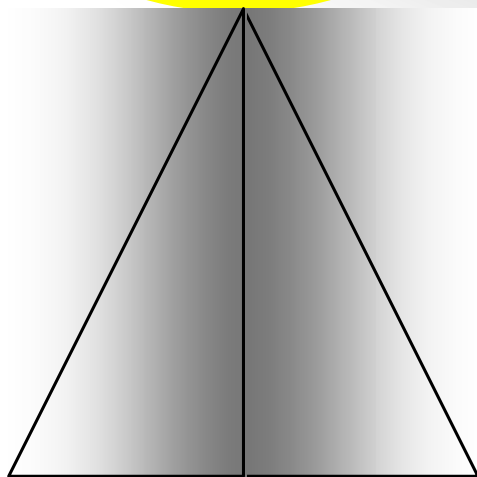
- ・道路、空港、港湾の認識灯・・・施設設置認可メーカー
- ・ビル内防災用標識灯・・・防災システムメーカー等
- ・狭角スポットライト・・・特殊照明器具メーカー等
- ・新用途開発・・・白色系、形状ラインナップ

# ハイパワーLED光源の利点

安全低発熱、  
低有害物質、  
低破損被害

省エネ、  
省電力・  
長寿命

デザインフリー、  
低発熱・形状に  
よる器具デザイ  
ンの自由度が  
高い



使用用途

マーケット



道路関係



特殊照明



空港、海港関係

## 表示事業における武器となる商品

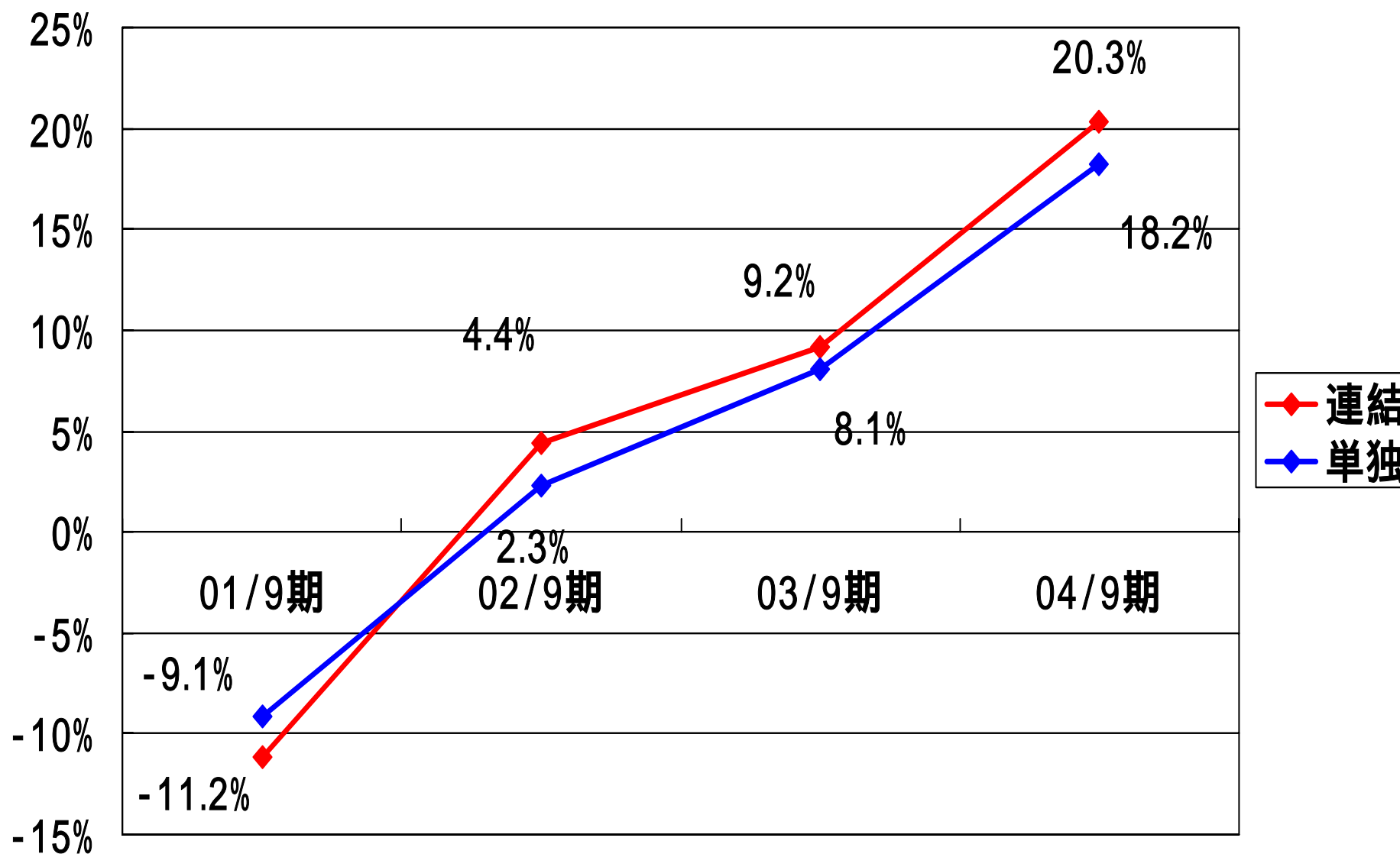
### カラーPDP

- ・マルチカラーPDP

見やすく、LCDにないサイズ  
車両、券売機への合わせこみ  
LCD, LEDとの差別化用途



# 株主還元策



\* 当期利益(税引後利益)(P/L) ÷ (資本金(B/S) - 自己株式(B/S))

配当性向は30%を維持



# ご清聴ありがとうございました

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。

従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

# ご質問等は

IR窓口

業務支援グループ

濱 一平

mail: [hama02@okayaelec.co.jp](mailto:hama02@okayaelec.co.jp)

電話 03-3424-8111